

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月29日		記入者	逸見 智弘・細越 麻美	連絡先	756-0290
平成18年度部名	教育総務部		課名	総合学習センター	課長名	木下 英雄
平成19年度部名	教育局		課名	総合学習センター	課長名	木下 英雄
事務事業名	施設運営事業					
予算上の事務事業名	学習・教育資料整備普及費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14120		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します					
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造					
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	なし					
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分			▼	5 事業開始年度	昭和63年以前 ▼	
6 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）					(2) 対象（誰、何）	
学校教育・社会教育等の教育資料の収集整理を行い、情報の調査・研究等への活用を行うとともに、図書閲覧室・図書資料室において市民利用に供する。					小・中学校児童・生徒	
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
通年で、教育図書及び雑誌を、当センター指導主事・社会教育主事の選定で購入。当センター内図書閲覧室に配架し、教職員・市民等に供する。						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 〔単位：千円〕						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	2,504	2,642	2,317	2,614	2,614	
一般財源	2,504	2,642	2,317	2,614	2,614	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	1,264	1,264	1,264	1,264	1,264	
事業コスト合計	3,768	3,906	3,581	3,878	3,878	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	学習・教育資料整備			対象名称 と単位	図書閲覧室・資料室 (室)	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	3,768	3,906	3,581	3,878	3,878	
対 象 数	2	2	2	2	2	
単位あたり経費(円)	1,884,000	1,953,000	1,790,500	1,939,000	1,939,000	
前 年 度 比			1.04	0.92	1.08	
10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの						

指標名と単位	購入冊数(冊)	指標式と指標の説明	購入整備目標冊数(200冊)÷購入冊数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	210.0	196.0	214.0		
目標	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0
目標達成度(%)	105.0	98.0	107.0		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	利用学校率(%)	指標式と指標の説明	利用目標学校数÷利用学校数 ※合併を視野に入れ、合併前から研修等で利用を促し、周知した		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	82.0	99.0	111.0		
目標	82.0	99.0	111.0	0.0	0.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]:良好な状態を維持する事業				
	[★★★]:概ね良好な状況である事業				
	[★★]:見直しを行う必要がある事業				
	[★]:抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価(今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		・教育の抱える今日的課題に対応していくために、関連書籍の購入、閲覧は必須の事業と考える。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1.5 課題として認識されたこと		
・図書購入にあたり、学校教育、社会教育分野から委員を選出し、多くの方々からの意見聴取に心がける。			・学校、市民の要望をどのように吸い上げていくか検討する必要がある。		
1.6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		・より多くの方が書籍を利用する方策を考えていく。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			